



2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年11月13日

上場会社名 株式会社ジーニー 上場取引所 東
 コード番号 6562 URL https://geniee.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 工藤 智昭
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 中島 文樹 TEL 03(5909)8177
 四半期報告書提出予定日 2018年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	7,841	20.9	△74	—	△85	—	△287	—
2018年3月期第2四半期	6,488	—	245	—	237	—	△132	—

（注）包括利益 2019年3月期第2四半期 △270百万円（－％） 2018年3月期第2四半期 △132百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	△16.27	—
2018年3月期第2四半期	△8.24	—

（注）1. 2017年3月期第2四半期において、四半期連結財務諸表を作成していないため、2018年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失金額であることから記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	5,006	2,961	59.0
2018年3月期	5,541	3,205	57.8

（参考）自己資本 2019年3月期第2四半期 2,955百万円 2018年3月期 3,203百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2019年3月期	—	0.00	—	—	—
2019年3月期（予想）	—	—	—	—	—

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
 2019年3月期の期末配当予想額は未定としております。

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,026	4.5	△400	—	△418	—	△625	—	△35.37

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期2Q	17,703,200株	2018年3月期	17,508,200株
② 期末自己株式数	2019年3月期2Q	70株	2018年3月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期2Q	17,654,732株	2018年3月期2Q	16,117,732株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。また、当社は2018年11月14日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する四半期決算補足説明資料は、後日、当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループのアド・プラットフォーム事業が属するインターネット広告市場は、スマートデバイスの普及・利用拡大等を背景に、データ連携可能な運用型広告やスマートフォン向け広告等へのニーズが引き続き高まっており、2018年のインターネット広告媒体費は前年比117.9%の1兆4,397億円まで拡大すると見込まれております(株式会社電通・株式会社サイバー・コミュニケーションズ・株式会社D2C調べ)。また、マーケティングオートメーション事業が属するデジタルマーケティングサービス市場は、One to One マーケティングに対するニーズの高まりやAI技術の進化等により、2018年の市場規模は前年比120.6%の452億円に達すると予測されております(株式会社矢野経済研究所調べ)。

このような事業環境の下、当社グループでは、引き続き強みである「技術開発力」と「事業推進力」を活かし、事業領域の拡大やサービス提供地域の拡大に取り組んでおります。

アド・プラットフォーム事業においては、サプライサイドビジネス(Google Products+「GenieeSSP」)にて、引き続き大手メディアをはじめとした新規顧客の獲得やサポート等に注力したほか、デマンドサイドビジネス(「GenieeDSP」)にて機能強化や代理店営業等に取り組んでまいりました。この結果、同事業の売上は、6,878,935千円(前年同期比19.3%増加)となりました。

マーケティングオートメーション事業では、マーケティングオートメーション「MAJIN(マジン)」にて、既存導入企業の利用促進や新規顧客開拓等に取り組んでまいりました。また、6月に中小企業向けCRM(顧客管理)/SFA(営業管理)システム「ちきゅう」の開発・販売事業を会社分割により承継しております。この結果、同事業の売上は、527,605千円(同20.4%増加)となりました。

海外事業では、インドネシアやベトナム拠点にて、現地有力企業との連携強化や大型キャンペーン案件の受注が進んだほか、タイ拠点では「GenieeDSP」にて現地ブランド広告案件等がありました。ソフトバンク社と連携したサービスの開発提供にも取り組んでおります。この結果、同事業の売上は、548,894千円(同5.5%増加)となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高7,841,952千円(前年同期比20.9%増加)、EBITDA(営業損失+減価償却費+のれん償却額)102,438千円(同71.8%減少)、営業損失74,677千円(前年同四半期は営業利益245,715千円)、経常損失85,646千円(前年同四半期は経常利益237,426千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失287,315千円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失132,853千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、5,006,314千円となり、前連結会計年度末に比べ534,740千円減少しました。主な要因は、売掛金が638,395千円減少したことによるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、2,044,537千円となり、前連結会計年度末に比べ291,049千円減少しました。主な要因は、資産除去債務が125,000千円増加、買掛金が449,157千円減少したことによるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、2,961,777千円となり、前連結会計年度末に比べ243,690千円減少しました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が287,315千円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期の連結業績予想については、2018年5月11日に公表いたしました予想から修正しております。

詳しくは、本日2018年11月13日公表の「業績予想の修正及び減損損失の計上に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,541,801	2,236,896
売掛金	1,855,074	1,216,679
その他	112,023	131,413
貸倒引当金	△35,959	△45,839
流動資産合計	4,472,939	3,539,149
固定資産		
有形固定資産	319,186	671,987
無形固定資産		
のれん	27,312	156,678
ソフトウェア	385,008	240,283
ソフトウェア仮勘定	34,034	39,046
無形固定資産合計	446,355	436,008
投資その他の資産		
投資有価証券	59,799	60,572
その他	246,838	302,935
貸倒引当金	△4,065	△4,338
投資その他の資産合計	302,573	359,169
固定資産合計	1,068,115	1,467,164
資産合計	5,541,055	5,006,314
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,299,378	850,220
1年内返済予定の長期借入金	99,996	99,996
未払法人税等	127,772	15,368
賞与引当金	59,812	68,124
その他	298,043	498,419
流動負債合計	1,885,003	1,532,129
固定負債		
長期借入金	250,004	200,006
資産除去債務	-	125,000
その他	200,579	187,401
固定負債合計	450,583	512,408
負債合計	2,335,586	2,044,537

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,519,561	1,531,674
資本剰余金	1,524,387	1,536,500
利益剰余金	159,527	△127,788
自己株式	-	△115
株主資本合計	3,203,477	2,940,271
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,419	△945
為替換算調整勘定	1,105	16,024
その他の包括利益累計額合計	△313	15,078
新株予約権	-	2,455
非支配株主持分	2,304	3,971
純資産合計	3,205,468	2,961,777
負債純資産合計	5,541,055	5,006,314

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	6,488,383	7,841,952
売上原価	5,331,827	6,759,895
売上総利益	1,156,555	1,082,056
販売費及び一般管理費	910,839	1,156,734
営業利益又は営業損失(△)	245,715	△74,677
営業外収益		
受取利息	726	127
助成金収入	1,500	200
匿名組合投資利益	4,086	-
その他	149	255
営業外収益合計	6,462	583
営業外費用		
支払利息	5,824	6,386
為替差損	7,317	2,643
その他	1,610	2,521
営業外費用合計	14,751	11,551
経常利益又は経常損失(△)	237,426	△85,646
特別利益		
事務所移転に伴う支度金	-	35,000
特別利益合計	-	35,000
特別損失		
投資有価証券評価損	275,653	-
減損損失	-	171,733
その他	-	1,851
特別損失合計	275,653	173,585
税金等調整前四半期純損失(△)	△38,227	△224,231
法人税、住民税及び事業税	101,308	1,795
法人税等調整額	△5,938	59,756
法人税等合計	95,369	61,552
四半期純損失(△)	△133,597	△285,783
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△743	1,531
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△132,853	△287,315

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純損失(△)	△133,597	△285,783
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,410	474
為替換算調整勘定	7,566	14,816
その他の包括利益合計	1,155	15,290
四半期包括利益	△132,442	△270,493
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△131,698	△271,923
非支配株主に係る四半期包括利益	△743	1,430

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△38,227	△224,231
減価償却費	112,298	160,510
減損損失	-	171,733
のれん償却額	5,665	16,605
匿名組合投資損益(△は益)	△4,086	29
投資有価証券評価損益(△は益)	275,653	-
為替差損益(△は益)	1,297	△1,683
貸倒引当金の増減額(△は減少)	934	7,134
賞与引当金の増減額(△は減少)	37,453	8,311
受取利息	△726	△127
支払利息	5,824	6,386
売上債権の増減額(△は増加)	112,229	650,299
仕入債務の増減額(△は減少)	△416,657	△457,162
その他	△22,434	31,554
小計	69,225	369,362
利息及び配当金の受取額	727	127
利息の支払額	△4,338	△6,386
法人税等の支払額	△90,400	△101,080
営業活動によるキャッシュ・フロー	△24,786	262,023
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△9,864	△148,829
無形固定資産の取得による支出	△63,709	△89,349
投資有価証券の取得による支出	△111,139	-
事業譲受による支出	-	△238,000
短期貸付けによる支出	△34,963	△13,000
短期貸付金の回収による収入	2,673	15,664
長期貸付けによる支出	△5,143	-
その他	△1,517	△43,501
投資活動によるキャッシュ・フロー	△223,665	△517,016
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	-	24,225
自己株式の取得による支出	-	△115
短期借入れによる収入	600,000	10,000
短期借入金の返済による支出	△400,000	△10,000
長期借入れによる収入	100,000	-
長期借入金の返済による支出	△46,666	△49,998
リース債務の返済による支出	△19,558	△37,292
非支配株主からの払込みによる収入	5,264	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	239,040	△63,180
現金及び現金同等物に係る換算差額	7,920	13,267
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,489	△304,904
現金及び現金同等物の期首残高	1,183,652	2,541,801
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,182,162	2,236,896

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」

(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。